



「やせるために」

初の肥満児体操教室ひらく

肥りすぎ防止は、運動と食事のバランスを考えながら……。減食については家族ぐるみで忍耐づよく励行することです……と市教育委員会主催により初の「肥満児体操教室」が3月11日市立伝法小学校体育館で開かれました。

これは市内小学校の5～6年の高学年を対象に50組の親と子が参加して市教委がまとめた「肥満対策について」の手引書によって肥満のへい害と対策などを学習しました。

そのあと、太田体育指導員の講師で肥満児体操が行われ、最初は軽い

運動から始めて、だんだんと強い運動に入っていくように「なわとび」で指導しました。こどもたちと一緒にになって体操に参加したお父さんやお母さんも息をはずませながら「きつい…ネ」の連発でした。

家庭でもこの体操をゲームやレクレーションのように楽しみながら2～3カ月は続けてほしいと呼びかけています。

昭和53年度の施政方針

『生活と生産が調和する 産業文化都市』をめざして



【施政方針をのべる渡辺市長】

富士市議会3月定例会本会議2日目は10日午前10時開会、昭和53年度一般会計予算ほか議案42件を一括上程したあと、渡辺市長三選後初の施政方針演説を約1時間10分にわたって行われました。

昭和53年度の施政方針の中で渡辺市長は今後の都市づくりの基本理念として落ち着いたある地方都市の魅力が改めて見直され、人口の地方への定住時代が今その幕を開こうとしています。とくに高度経済成長の残した功罪を振りかえるとき、その感をことさら深くしています。こうした点を踏まえ「生活と生産が調和する産業文化都市」の実現、具体的には、次の五つの都市像をめざし、個性と魅力ある「ふるさと」づくりをすすめていく方針です。

- ①富士愛鷹山麓の自然や生活と環境を守る人間環境都市
- ②こどもや老人を大切にす豊かさやすらぎのある福祉都市
- ③創造性豊かな人づくりと香り高い文化を育てる教育文化都市
- ④だれもが希望をもって働くことのできる活力ある生産都市
- ⑤市民を主体とした市民のための市民都市

個性と魅力ある「ふるさと」づくりを

つぎにこの五つの都市像について具体的に説明しましょう。

富士愛鷹山麓の自然や生活と環境を守る人間環境都市とは……

都市には、今さまざまな面で多くの都市問題が顕在しています。地震火災による大災害の危険、自然破壊や公害、廃棄物、交通事故、さらには資源不足や物価の高騰など、どれ一つをとってみても、市民の生活そのものに大きなかわりをもつ問題であり、市民を常に環境悪化と危険から守り、富士愛鷹山麓のすぐれた自然や快適、健康、安全な生活環境のもとで、すべての市民が豊かな生活を享受し得る内容の充実した人間環境都市を目指していきます。

こどもや老人を大切にす豊かさやすらぎのある福祉都市とは…

都市には、こどもや老人等いろいろな人たちが共存しています。これ

までも市民の理解と連帯に基づく福祉の風土づくりを積極的にすすめてきましたが、今後とも次の時代をになうこどもや社会をささえてきた老人を大切にするとともに、心身障害児(者)やその他の弱い立場にたたされている人々を暖かい目で正しく理解し人間として尊重されるような環境をつくり、すべて市民が思いやりと助けあいの心をもって生活のできる人間性あふれる福祉都市を築きあげていきます。

創造性豊かな人づくりと香り高い文化を育てる教育文化都市とは…

めまぐるしく変ることが予想されるこれからの社会環境に市民一人一人が適確に対応できるためには、自らが新しい時代意識をもち、流動化する社会に適応し得る創造力とたくましい行動力に富む人間であることが望まれます。このためには、人づく

りの基礎的な場としての義務教育環境を質、量ともに充実することはもとより、高次教育機能の誘導や市民の心のよりどころとなる郷土文化を育む風土づくりをすすめ、市民のだれもが整えられた教育環境のもとで生涯を通じた教育の機会が保障され充実した芸術、文化活動が行える情操豊かなるおいのある教育、文化都市を目指していきます。

だれもが希望をもって働くことのできる活力ある生産都市とは……

都市には、快適で住みよい生活の場と調和のとれた生産の場が必要です。とくに本市は、これまで地場産業である製紙業を基盤として生産都市の地位を確立してきましたが、これら経済基盤の中核をなす製造工業が商業や農林業とも相互に矛盾することなく調和する状態で存立し、だれもが生きがいと希望をもって働くことのできる活力ある生産都市をつくりあげていきます。

(次ページへ)

市民を主体とした市民のための市民都市とは……

都市は、市民参加によってつくる共同体であり、都市の個性や魅力づくりも、所詮は市民意識の総合力に依存するといっても過言ではないと

思います。その意味において、本市はこれまで行ってきた市民との対話行政を貴重な経験として活かし、市民エネルギーを市民参加にまで高めるための条件づくりをさらに推進することが必要であり、市民や企業も

その役割と責任に応じ、相互に協力して都市づくりに参加し、郷土のよいもの、特色あるものはこれを積極的に守り育てながら、市民主体の生き生きとした市民都市を築きあげていきます。

53年度の重点施策

豊かさと充実した市民生活の実現へ

昭和53年度は「豊かさと充実した市民生活の実現」を市政運営の基本目標として取り上げ、この基本目標実現のための四つの重点施策を柱に編成されています。

- 第1に、機能的な都市基盤の整備。
- 第2に、災害防止対策事業の推進。
- 第3に、安全で明るい豊かな市民生活の保障。
- 第4に、人間性を培う教育、文化の充実。

それではこの53年度予算がどのように使われるのか、そのあらましを紹介しましょう。

機能的な都市基盤の整備

下水道事業に30億2,000万円

現代的都市生活基準の向上をはかるための基礎的施設としての下水道事業は、新年度も昭和55年の共用開始をめざす富士処理区終末処理場の整備と吉原及び富士の下水管布設等を行うほか、市街地の雨水対策として都市下水路3路線の築造と簡易下水路の整備をはかります。

道路整備に

8億1,000万円

毎年度積極的にその整備をはかっているが新年度も、主要な一般市道34路線の新設改良をはじめ舗装や維持改良を実施するほか、都市計画道路についても国庫対象6路線と市単独事業による幹線街路13路線、県施行による4路線を整備します。

また、道路や測溝の修繕等、市民の身近な生活環境をよくするための緊急対策整備事業、いわゆる「すぐ

やる予算」については、新年度から1件あたり5万円の限度額を10万円に増額し、1,000万円を予算化して市民の要望に直ちに答えることになっています。

土地区画整理事業に

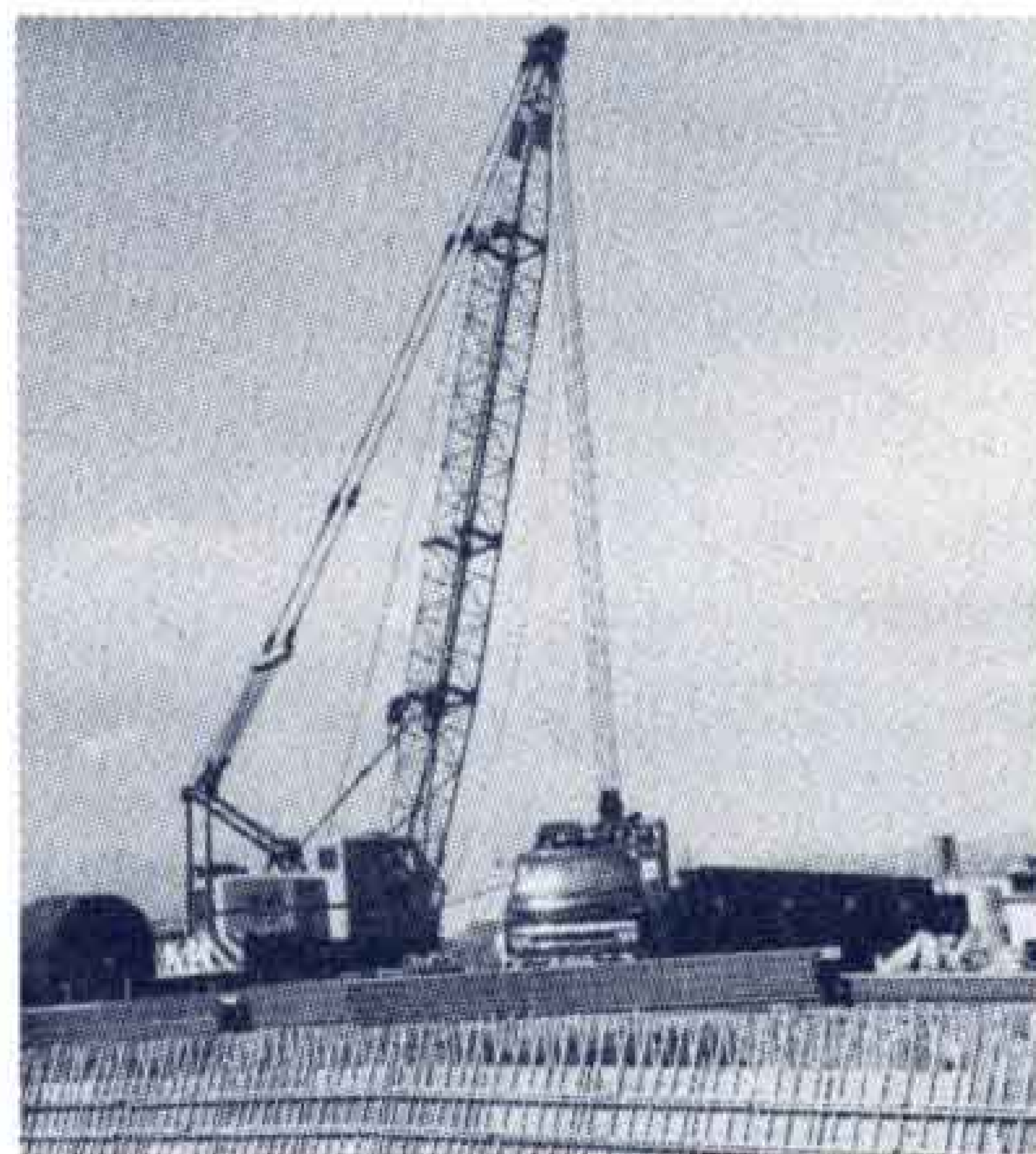
11億6,000万円

都市機能の向上と秩序ある街づくりをすすめるための土地区画整理事業は、引き続き富士駅周辺および依田原新田、富士中部3地区の整理事業に拍車をかけるとともに、組合施行による浜田、および、神谷土地区画整理事業の推進をはかります。

水道事業に

4億2,000万円

上水道事業は、昭和46年から実施してきた第4次拡張事業が新年度をもって終了するので、目標年次を昭



【急ピッチに進められる護岸工事】

和60年とし、今後の公共下水道の普及や簡易水道の統合等により給水需要の増大に対応していくことになっています。

ごみ・し尿処理に

1億1,000万円

ごみ処理については、地域ぐるみでの巾広い市民の理解を求めながらごみの減量運動と再利用化および分別収集の徹底をはかり清潔な街づくりにつとめています。施設整備としては、ロード・パッカー車等収集車両7台の更新と第1清掃工場の焼却施設の補修を行います。

し尿処理につきましては、水洗化がすすむとはいえ第1清掃工場の処理施設の老朽化と浄化槽の汚泥の増加により新たな処理体制を確立する必要があり、現在、プロジェクトチームによってその対応策が検討されこの結果を待って具体的な施設整備をすすめてまいります。

緑と自然の保護・育成に3億円

都市に潤いを与えるうえで欠かすことのできない緑と自然の保護・育成策としては富士・愛鷹山麓の自然を守ることを基調に「自然環境の保全と緑の育成に関する条例」に基づく諸施策を一層すすめるとともに「緑いっぱい市民の会」を中心とした緑化活動等を通じて、市民緑化の輪を更に広げていきたい。

また公園緑地の整備は、富士緑道および総合運動公園をあわせ、10公園の整備と土地開発公社事業による公園用地の取得を行っていきます。

このほか三四軒屋緑道整備や街路樹植栽、みどりのマスタープラン策定委託等にも配慮し、より広い緑の街づくりを推進することになっています。

農林業基盤整備に

10億2,000万円

土地改良をはじめとする農業基盤整備は、引き続き県営東部圃場整備事業、沼川および大淵畑地総合整備

事業等を推進するほか市、県単独ならびに県営、団体営、非補助土地改良事業による農道、排水路などを整備し、生産性の高い都市近郊農業の展開をはかることになっています。

安全で明るい豊かな市民生活の保障

公害防止対策に

2億1,000万円

公害防止対策は、これまで市民生活最優先の立場から、これらに懸命の努力を重ねてきましたが、なお多



【写真・富士愛鷹山麓に広がる大自然】

また、林業については、森林をもつ公益的機能を高めるため、新年度から富士市を中心に4市1町により中核林業振興地域整備事業を実施、林道の開設と舗装事業を行い、計画的な林業基盤の整備をはかります。

くの解決すべき事項が残されています。とりわけ総量規制に基づく硫黄酸化物の新環境基準の早期達成と対策のおくれている窒素酸化物および悪臭対策の確立をはかり、硫黄酸化物の高濃度汚染地域を中心としたガス転換事業の促進や各測定局の機器の整備による監視体制の充実、公害発生要因の適正な把握と改善指導のための窒素酸化物および悪臭調査の実施を柱として、発生源規制の一層の強化をはかり、市民の健康保持と環境の改善につとめます。

交通安全対策に

1億円

官民一体となった努力にもかかわらず、昨年は事故死亡率が人口10万人以上の都市で全国一という不名誉な記録を示し、運転者をはじめとする市民総ぐるみの交通安全運動の徹底が今後とも必要です。新年度は、こうしたことに対する市民意識の高まりと行動をもとに、関係機関等と緊密な連携を深め、とくに幼児、老人、自転車利用者等の安全に重点をおきます。

住宅対策に

7億7,000万円

明るい豊かな市民生活の基礎は、快適な生活環境と調和した住みよい住宅の確保にあります。このため富士見台および田子浦団地にそれぞれ40戸の市営住宅を建設するほか、勤労者持家住宅建設資金融資ワクの拡大と老人同居世帯住宅改良資金事業を引き続き行います。

災害対策事業の推進

市民生活を災害の危険から守り、安全な街づくりを創造することは、人間環境都市を標榜する富士市にとって重要な課題です。とくに一昨年8月の県東部を中心とする豪雨災害や東海大地震を契機として市民の防災に対する意識は一段と高まり、新年度は重点的に取り上げました。

河川災害対策に

1,500万円

河川災害対策は、災害復旧助成事業の指定を受けました赤淵川、須津川、滝川、沼川の各水系の抜本改修に拍車をかけるとともに、中小河川21カ所の新設改良ならびに浚せつ、工事をはじめ災害住宅復興建設資金融資事業や浸水住宅改良促進助成事

業、がけ地近接危険住宅移転事業などがそれぞれ予算化されています。

地震対策に

3億1,000万円

昨年当市で行われた県総合防災訓練の成果を踏まえるとともに、去る1月に発生した伊豆大島近海地震を生きた教訓として受けとめ、地域ぐるみで今後に対処することが必要ですが、当面、震災時における市独自の避難、救急、救援等の具体的計画の策定を急ぐとともに、昨年に引き続き耐震用100トン防火水槽20基と40トン防火水槽35基の設置にあわせ可搬式小型動力ポンプ及び防災用行政無線の整備をはかりました。

児童対策に

2億6,000万円

こどもを大切にする施設であります。周辺の環境条件等から移転が望まれている蓼原保育園の用地先行取得と土地開発公社事業による第3保育園の建設費助成および運営費の増額をしたほか、児童の遊び場の整備、母子家庭等児童の入学祝金等について措置しました。

なお、保育料は、国の毎年の改定にもかかわらず、当市は福祉政策上から本年度は改定を見送りましたが国の徴収基準額との間に相当の格差が生じ、新年度から改定に踏みきりました。改定にあたっては、第2子以降の保育料軽減措置を全階層に設定する等、現行保育料を調整改定し保護者の負担の適正化をはかることにしました。

老人対策に

7億1,000万円

かねてから強い要望の富士および吉原老人ホームの統合整備に備え、基本構想、基本計画の策定をすすめるほか、簡易老人憩いの家設置に対する助成、ねたきり老人やひとり暮らし老人のための特殊寝台や寝具の貸与、入浴車巡回サービスなど老人福祉の向上をはかっていきます。

また、仮称田子浦福祉センターは土地開発公社で取得済の用地費と設計委託を行い54年度着工に向けて諸準備をすすめています。

医療対策に

3億8,000万円

市民の健康を守る医療対策は、新年度も市立中央病院に医療技術の進歩に対応した検査機器の導入をはかるほか、市民の切実な願いであります同病院の整備充実に3億3,000万円をかけ新年度から実質的事業に着手します。

また、休日、夜間の救急医療体制

についても医師会の協力をいただき更にその充実につとめるほか、市民要望の強い歯科の救急体制については歯科医師会の協力が得られ、新年度の4月から休日の救急診療が実施されることになりました。このほか心身障害児(者)や乳幼児のための「歯科診療所」の建設は新年度着工予定で諸準備がすすめられています

医療費保障に

6億7,000万円

新年度も乳幼児と母子家庭児童及び老人の医療費の無料化、重度心身障害者と精神障害者への医療費助成。

また大気汚染にかかる健康被害者の補償給付などや成人病検診の公費負担等を引き続き行っていきます。

中小企業振興対策に

6億円

新年度は、不況対策として最も緊急な金融対策に特段の力を入れ、今まで要望のとくに多かった小口資金の貸付限度額について県及び信用保証協会と再三にわたる協議の結果、200万円を300万円に引き上げられ、これに伴う資金預託の増額をはかるとともに、地場産業対策の一環として県中小企業緊急不況対策融資制度による助成を措置しました。



【写真・マンモス化する富士見台団地】

人間性を培う教育・文化の充実

明日をにやう世代の教育と豊かな郷土文化の創造は、極めて重要であり、これらの活動が常により環境のなかで行えるよう最大の努力をはかります。

義務教育に

28億8,000万円

新年度は、すでに債務負担行為によって工事をすすめてきた仮称富士南小学校および今泉小学校第2期改築事業のほか、新たに仮称天間小学校の新築事業、丘小学校増築事業、東小学校並びに吉原第二中学校改築事業、東中学校特別教室新築事業、吉原小学校改築設計委託、さらに仮称富士見台中学校用地取得や大淵第一小学校増築のための用地取得など児童、生徒の急増対策と校舎の鉄筋化をすすめます。また、学校体育施設としては、仮称富士南小学校と岳陽中学校にプール新設、吉永第一小

学校および東中学校プール用地の取得や富士見台小学校、大淵第一小学校体育館の新築事業をすすめる、児童生徒の体力向上につとめます。

社会教育に

2億6,000万円

生涯教育の必要が強く求められている今日、その成否のカギといわれている社会教育の振興にも意欲的に取りくんでおり、とりわけ豊かな郷土文化を振興することは、ともすれば見失なわれがちな心の豊かさを育てるうえで重要な要素となります。

このため新年度は、西富士有料道路埋蔵文化財発掘調査や、懸案であった郷土博物館の54年度着工をめざし用地造成を行うほか、各種文化団体、学識経験者等の意見を聞く「市民文化懇談会」を発足させるとともに、仮称総合社会文化会館などの建設についても検討しています。

一般会計当初予算

富士市の昭和53年度予算は、現下の経済情勢から厳しい財政運営が予想される中で、都市の質的転換をめざした「豊かさで充実した市民生活の実現」を市政執行の基本目標にして国の景気回復にも資するため、重要事業の選択と財源の重点的配分につとめ予算編成を行いました。財源的には、市税に占める法人関係の税の伸びが期待できず、予想以上の財源難に当面したが市立中央病院の増改築、公共下水道、中小河川の整備防災対策、義務教育施設の整備などの予算化をはかりました。その結果、新年度における予算規模は一般会計が252億2,800万円、企業会計を含む特別会計が134

億9,029万円の合計387億1,829万円となります。前年度当初予算と比較して、一般会計にあっては29億3,800万円の増で13.2%、特別会計では27億9,067万円増で26.1%の伸びを示し、総体的には、57億2,867万円、17.4%の増加となりました。

また、これらの予算の執行に必要な財源であります。一般財源の市税収入は、法人関係の伸びが期待できず52年度対比13.3%増の137億9,431万円を見込みましたが各種事業の推進にあたっては、国の地方財政計画と同様、新年度も市債等の特定財源に相当額を依存せざるを得ない結果となっています。

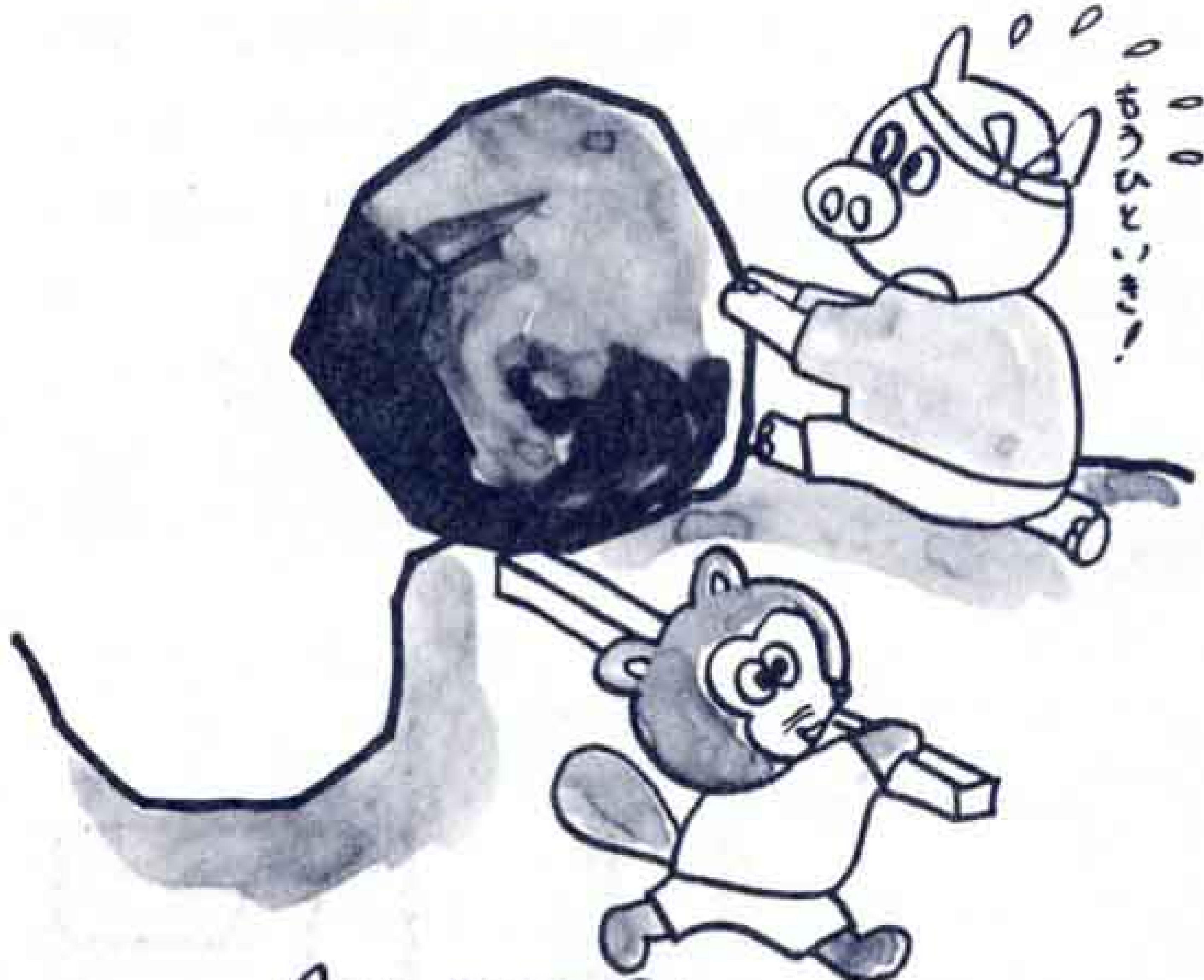


歳出
計 252億,2800万円

◎教育費
53億,3003万円

◎土木費
60億,1388万円

◎総務費
24億,9903万円



◎衛生費
24億,9953万円

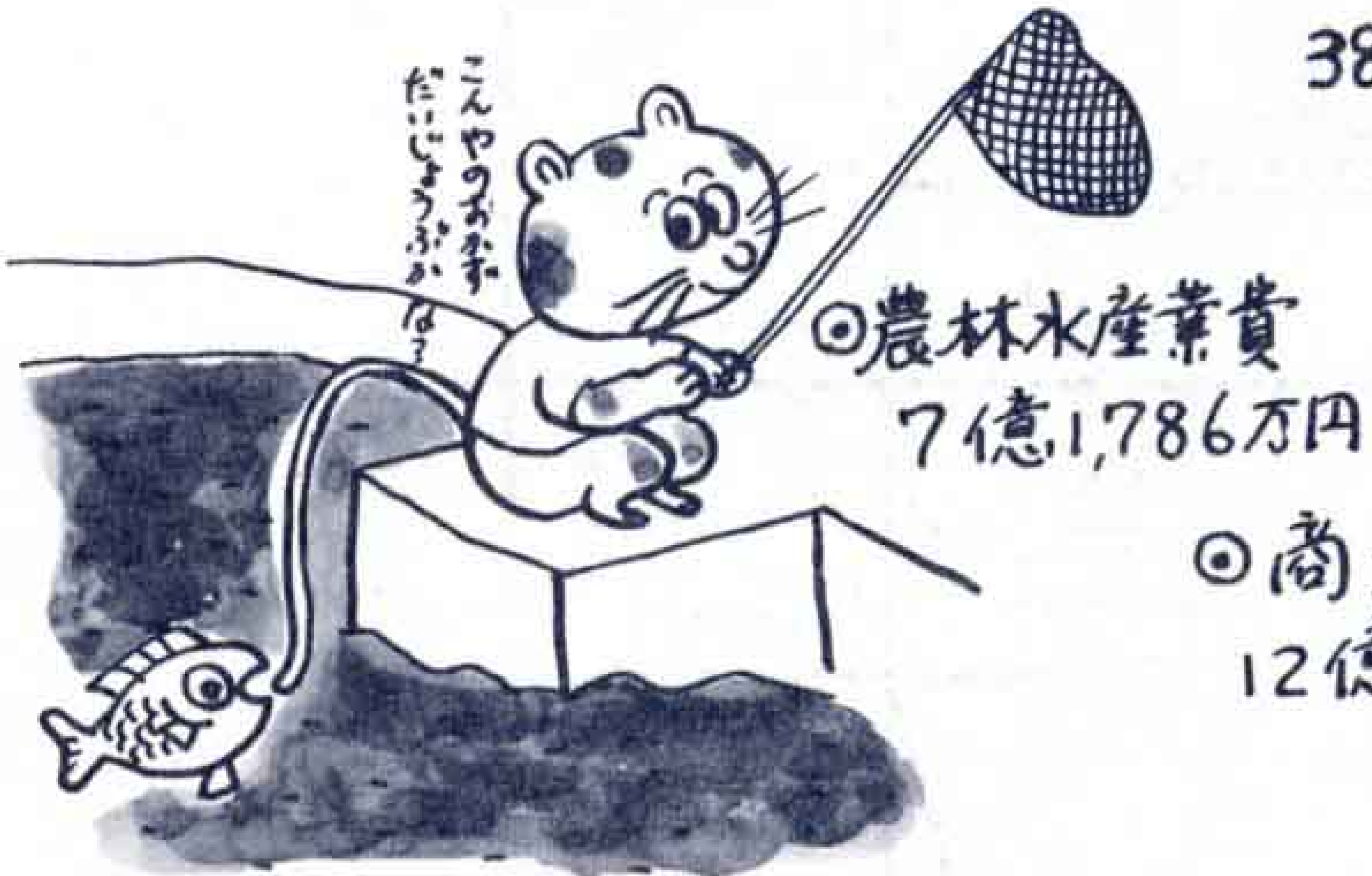


◎民生費
38億,855万円

◎公債費
15億,9473万円



◎消防費 11億,2207万円



◎農林水産業費
7億,1786万円

◎その他
3億,9540万円

◎商工費
12億,4692万円

各会計別予算

一般会計…252億2,800万円
特別会計…134億9,029万円
(企業会計を含む)
総額…387億1,829万円
=特別会計の内訳=
国民健康保険事業 33億6,400万円
下水道事業…32億9,971万円

青島・津田土地区画
整理事業清算金…280万円
依田原新田土地区画
整理事業…6億4,550万円
富士中部土地区画整理事業
…6,870万円
学校給食事業…9,264万円
地方卸売市場事業…6億1,450万円
駐車場事業…6,650万円
公共用地先行取得事業
…5億1,820万円
内山…3,540万円

旧吉原…132万円
旧島田…263万円
旧今泉…1,360万円
旧今泉・一色・神戸・今宮
…1,039万円
旧元吉原…172万円
旧須津…204万円
旧吉永…370万円
旧原田…680万円
=企業会計=
水道事業…18億6,920万円
病院事業…26億6,744万円

Ad. Sawaki

県立富士東高校の開校で

富士急行がバス路線をふやす

県立富士東高校の開校に伴い通学の利便をはかるため、富士急行では新しい路線を設定するとともに一部増強して4月10日から運転することになりました。この新路線は

- ①吉原中央駅～長沢～川久保～富士駅
- ②吉原中央駅～大月線～厚原西

- ③吉原中央駅～長沢～鷹岡郵便局前
 - ④吉原駅～吉原中央駅～茶ノ木平
 - ⑤茶ノ木平～弥生線～富士駅
 - ⑥西富士宮駅～大月線～伝法1丁目～国久保～吉原高校～富士東高校～富士見台
- とくに富士東高校回りの富士見台ゆきのバスは4月下旬から運転の予定

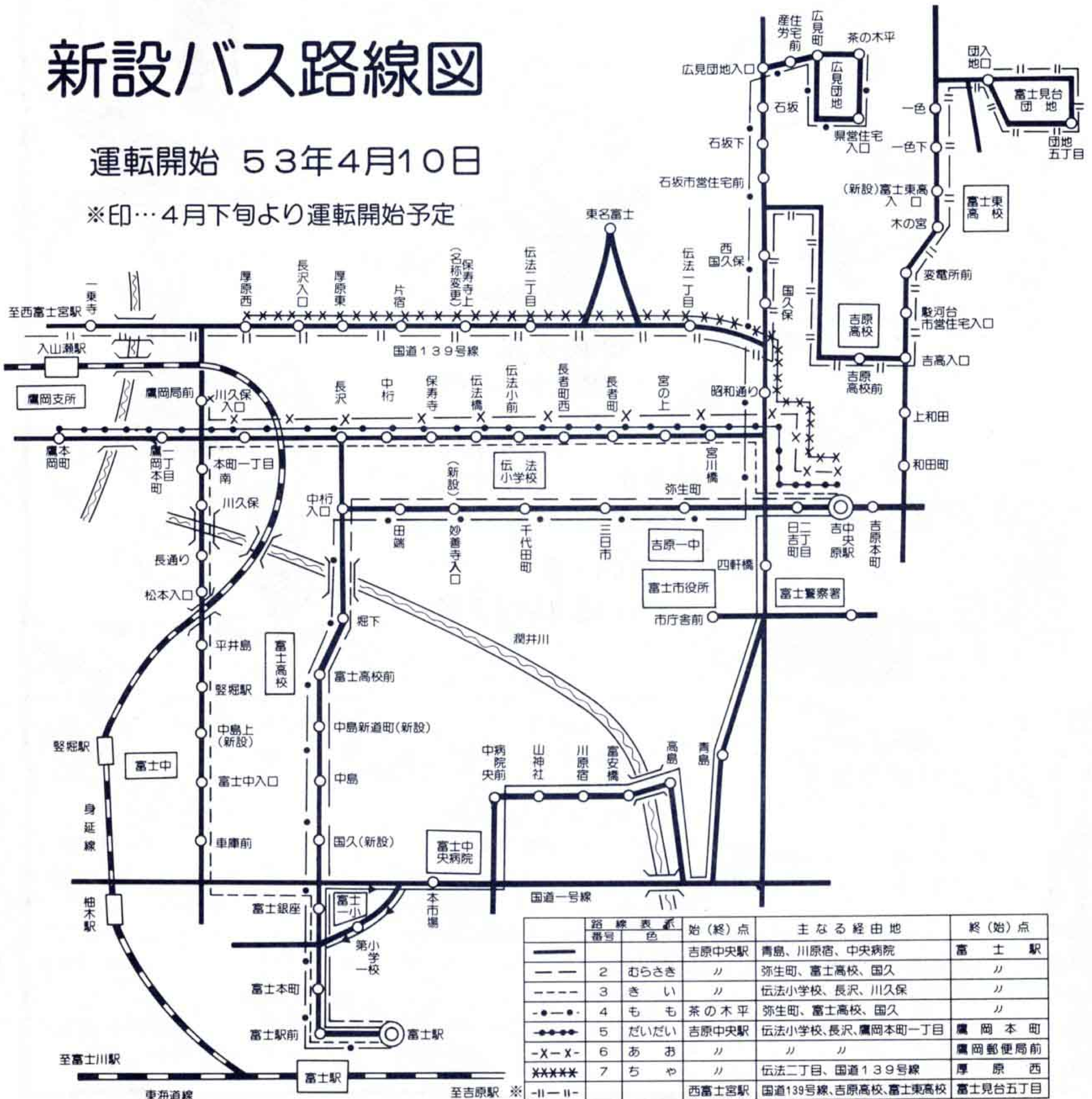
定です。

なお、路線略図の新路線には番号と色で行先がわかるようにしました。運行時刻の問い合わせは、直接富士急行吉原営業所(52-0788)と富士営業所(61-1382)へご連絡ください。

新設バス路線図

運転開始 53年4月10日

※印…4月下旬より運転開始予定



第2回交通安全市民大会 富士一小でひらく



「私たち歩行者は、道路への飛び出し、おしゃべり、悪ふざけはいたしません……」と富士第一地区第2回交通安全市民大会が3月5日富士第一小学校で町内会、婦人会、老人クラブ、子ども会やPTAなど約1,000名が参加して開かれました。

この交通安全大会は、富士第一地区社会教育推進会（佐野錦一会長）が主催して行われたもので、小学児童代表の意見発表や各種団体をはじめ渡辺市長らの激励のことばがあったあと「私たちドライバーは、常に交通ルールを守り、弱者の安全を守ります」「私たち家族そろって交通安全の話し合いをし、事故防止につとめます」などの大会宣言を決議、終って県警音楽隊を先頭に銀座-本町-富士駅前-イトーヨー

カドー-仲町通りのコースで交通安全のプラカードを掲げ市中パレードをくりひろげました。

【市中をパレードする市民大会】



キックの池野さんら 元水泳の早川さんら

一日消防長に

春の火災予防運動の一つとして市消防本部は、3月4日キックボクシング日本ヘビー級チャンピオン池野興信、同フェザー級チャンピオン亀谷長保選手と、元オリンピック水泳の早川一枝さんの3名を一日消防長に任命しました。消防長の正装に着がえた一行は、イトーヨーカドーやユニー吉原店で店内査察を実施。

一方ユニー吉原店の緑の広場では「こんにちは消防音楽隊です」と一日消防長と市民と唄う会が開かれ、早川さんが「四季の歌」を唄えば、池野選手も自慢の「相撲甚句」を披露、店内は見物客で黒山の人。最後に「火の用心」をPR、午後4時すぎ幕となりました

【写真・唄う左から池野、早川、亀谷一日消防長】>



【写真・右が丘小学校
下が吉原一中】



吉原一中に 丘小学校中に 体育館が完成

市立丘小学校（大橋嘉則校長）にすばらしい体育館ができあがり、3月7日関係者多数が出席して盛大に落成式を行いました。この体育館は、校舎東側に昨年9月22日着工、工費7,560万円をかけて鉄筋一部2階建、1階1,013平方メートル、2階95平方メートル（ギャラリー部分）に体育室、放送室、更衣室などが完備しています。

また、市立吉原第一中学校（荒川一郎校長）の体育館落成式は3月14日行われました。この体育館は鉄筋一部鉄骨2階建のべ1,488平方メートル（1階1,383平方メートル、2階105平方メートル）で、昨年9月22日着工、総工費9,584万円をもってこのほど完成したものです。

第11回小中学校美術展

1300余点が展示



第11回市内小中学校の美術展は、3月4日から6日まで吉原市民会館で開かれました。この美術展は、子どもたちが、この1年間の総まとめということで各学校からえられただけあってどれも立派な作品1300点余りが展示されました。作品は、絵画、工作（オルゴール）、版画などの力作ばかり。また会場は、終日親子でいっぱいでした。

日頃から公共施設に不満を感じていますか

市立病院がトップで学校、街路灯の順です

第6回世論調査の集計結果

前回に引き続き、第6回世論調査の集計結果は次のとおりです。

日頃から不便や不満を感じている公共施設や公益施設はどんなものですか。

(イ) 設問では30の公共(公益)施設をあげ、その中から三つまで選んでもらう方法をとりました。その結果、群をぬいて「市立病院」がトップで男女別、職業別、地域別などのいづれをとっても中央病院が1位であった。市立病院に不便や不満を感じている人は全体の18.6% (431人)、年代別では50代が最も多く25.3%で地域別で多いところは、今泉の25.3%、富士見台の24.5%、田子浦の23.6%となっており、少ないところでは、吉原の12.6%、須津、浮島の14.1%元吉原の16.1%、伝法の16.3%でした。

(ロ) 次に2位は、ずっと下って「学校」があげられています。不便を感じていると答えた人は、全体で9.4% (219人) となっており、学令期の子どもを持つ40代15.6%、30代11%が多く、20代の5.2%、50代の6.2%が少なかった。地域別では鷹岡が16.7%と高く、広見14.9%、今泉13.3%、

岩松の12.3%の順で、少ないところは原田の2.8%、丘の4.9%伝法の5%などで地域により差があることがわかりました。

(ハ) 第3位の街路(防犯)灯が意外に多く全体で7.2% (168人) で職業別では自由業22.7%、学生13.8%が目され、地域別でも差が見られ、多い地区は須津、浮島について伝法、富士見台、大淵、吉原の順でした。

(ニ) そのほか5%以上のものは「駐車場」が6.9% (159人) 「遊び場」が5.8% (135人) 「図書館」が5% (116人) ありました。

(ホ) また、「保育園」は3.7% (86人) 「幼稚園」が4.7% (110人) で地域別では富士見台と富士駅南が多かった。

住んでいるところで足りないと思う公共施設は何ですか。

第1位が街路(防犯)灯で次いで遊び場、下水道。

(イ) 全体として第1位は「街路(防犯)灯」が14.6% (348人) もあり、以



【写真・富士市立中央病院】

下「遊び場、運動場」が13.6% (323人) 「下水道」11.5% (274人) 「公園緑地」9.7% (231人) 「図書館」9.6% などが比較的に多く答えています

(ロ) 年代別の特徴としては女より男の方が多いものとして駐車場、下水道、学校などがあげられ、女の方が多いものには遊び場、図書館、プール、保育園がそれぞれ13%から3%を占めています。

(ハ) 職業別では、第1に「下水道」をあげたのは、農林業の15.8%をトップに商工経営の15.6%で「図書館」をあげたのは学生の17.2%でした。また地区別では富士地区が「図書館」鷹岡地区が「学校」、丘地区「集会場」、広見地区は「公民館」をあげているのが特徴となっています。

(つづく)

4月1日から

小口資金貸付限度額が上げられます

小規模事業者の小口の事業資金をあっ旋融資する小口資金貸付限度額が従来の200万円から300万円に上げられます。

◎融資対象

①常時使用する従業員の数が30人(商業、サービス業については10人)以下の会社及び個人。

②市内で6カ月以上同一業種を営んでいること。

③事業税、市県民税を未納していないこと。

◎資金の用途 事業資金

◎融資限度額 300万円

◎融資期間 3年以内

◎融資利率 年6.50%以内

◎返済方法 元金均等月賦償還

◎連帯保証人

保証人は申込者が会社の場合はその代表者を含めて2人以上、個人の場合は1人以上。

◎信用保証料等

信用保証付とし保証料は年0.80%以内

◎申込み及び問合せ先

市役所商工課

電話51-0123 内線397

4月から「埋蔵文化財」の発掘調査はじまる

2年4カ月で3億円をかけて

調査区域は富士インター周辺約6万平方メートル

ことしの4月から昭和55年8月までの約2年と4カ月にわたって「西富士道路にかかわる埋蔵文化財発掘調査」（東平遺跡）が行われることになりました。

調査の対象地点は、東平A地点（大月線南側全域）8550平方メートルとB地点（富士インター入口北側で本線東側）2万6,490平方メートルおよびC地点（東名との交差予定北側）4,650平方メートル、D地点（C地点より更に北側）1万9,690平方メートルの合計5万9,380平方メートル（1万8,244坪）で、この地点はいずれも道路公団によるバイパスが昭和57年4月に開通予定になっています。

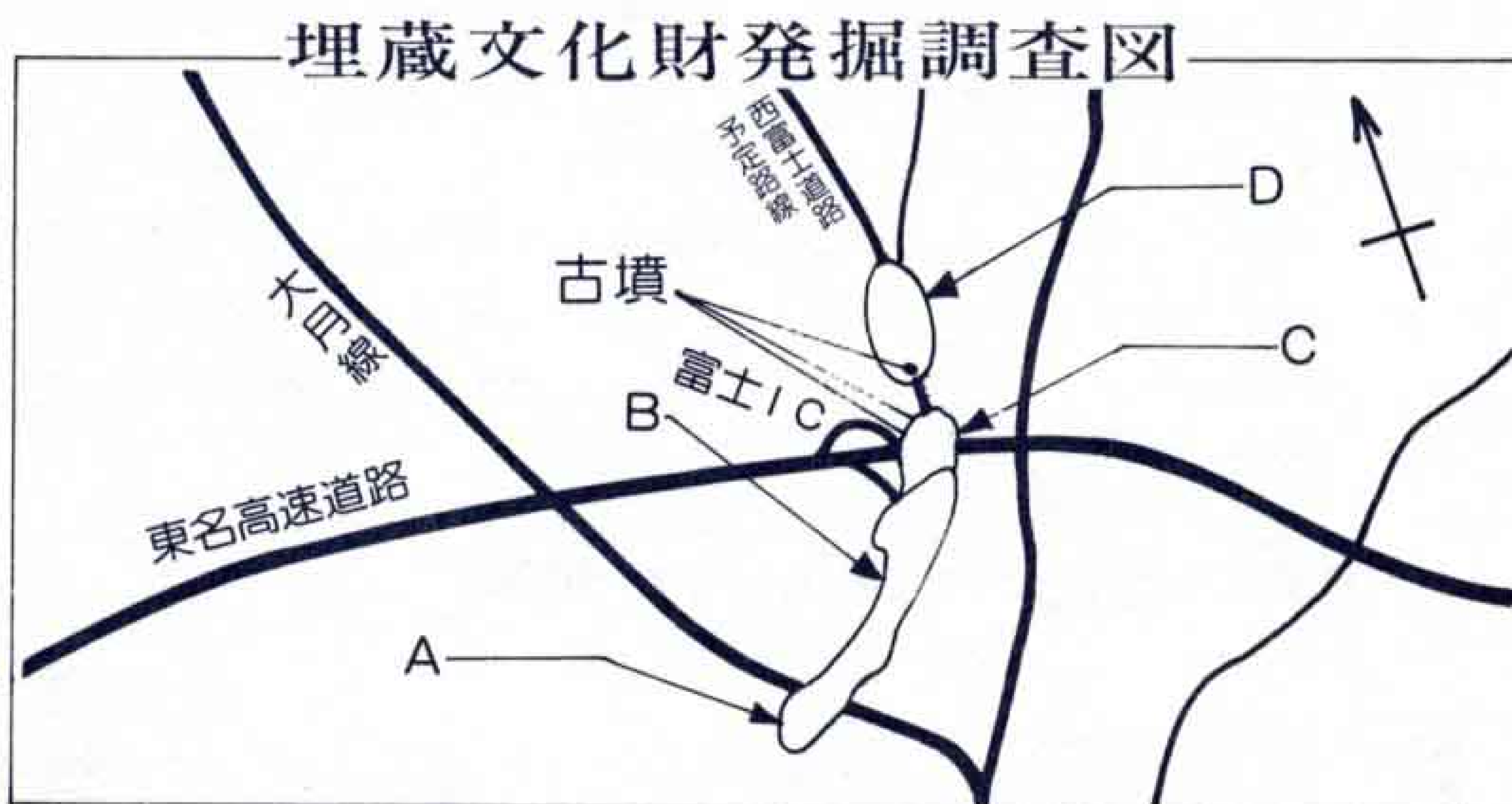
発掘調査予算は、すべて道路公団

が負担し、当初の53年度は1億3,179万円が計上され、総額約3億円を予定しています。

事務所は、現地に「富士市埋蔵文化財発掘調査事務所」の看板を掲げ差しあたり主任調査員を中心に2カ

班（1カ班24名）編成で大がかりに発掘調査が行われます。

また、この周辺の東平遺跡は、今から5,000年前の縄文時代の集落跡が点在、その中に3~4基ぐらいの古墳があるといわれています。



防火作文 市長賞は石川、伊奈さん

昭和52年の防火作文表彰式が3月11日市消防本部で行われました。

市内の各小中学校から推せんされた作文は小学校47点、中学校13点の計60点で、審査の結果つぎのとおり

入賞者がきまり、それぞれ賞状と賞品が贈られました。

■小学校の部

- 市長賞 石川宏美（原田小）
- 議長賞 渡辺由香（今泉小）

- 教育長賞 石川智一（丘小）
- 消防長賞 佐藤史子（吉原小）
- 協会長賞 竹内久美子（富士一小）

■中学校の部

- 市長賞 伊奈明美（富士中）
- 議長賞 牧野早百合（吉原一中）
- 教育長賞 田内義彦（大淵中）
- 消防長賞 望月律子（須津中）
- 協会長賞 山田厚子（田子浦中）

簡保資金写真コンクール

しめきりは6月30日まで

簡易保険加入者の共同財産である簡易保険積立金は、簡保資金として政府関係機関や县市町村に融資され、当市においても富士見台小学校の新築など、小・中学校、公営住宅、道路、公園、港湾などの建設に役立てられています。そこで郵政省では、この簡保資金の果たす役割を理解していただく

ため、第10回の簡保資金写真コンクールを実施します。

- ・サイズ…カラーはスライド、35ミリ以上、白黒は四つ切り（単写真、組写真いずれも可）
- ・受付…各郵便局の保険窓口
- ・募集期間…4月1日から6月30日
- ・審査員…秋山青磁氏ほか
- ・賞…カラー、白黒の両部それぞれに

- 推薦1点（郵政大臣賞、賞金5万円、トロフィー）
 - 特選2点（簡易保険局長賞、賞金3万円、トロフィー）
 - 入選5点（簡保資金研究会理事長賞、賞金1万円、トロフィー）
 - 佳作40点（賞金5千円、副賞）
 - 応募者全員に参加賞
 - ・その他…未発表作品に限る
- 詳細については各郵便局保険窓口でお尋ねください。

地震予知とあなたの暮らし②

地震の“早期発見、予知するには

地震は、地球をおおっている岩石の大規模な破壊現象ですが、くわしくしらべてみると、大なり小なり前兆があります。

岩石がこわれるときには、いきなりこわれるのではなく、まず小さな破壊がはじまり、つづいて大規模な破壊となります。

ですから、地震がおこりそうな地域内のできるだけ多くの場所にいろいろな観測装置をおいて、観測をつづければ、地震の前兆をとらえることができそうなのです。これが「地震の予知」です。

地震の前兆

長期的前兆

- 地震の震源地付近において、地面が少しずつもりあがったり、のびちぢみしたりすることがあります

長期的前兆や直前の前兆

- 地面の動きが急激になります。
- 微小な地震が数多くおこることがあります。
- 地磁気や地下水の水位、色、水質が急にかわることがあります。
- 動物が異常な動きをおこすことがあります。

地震予知は100% 確実ではない

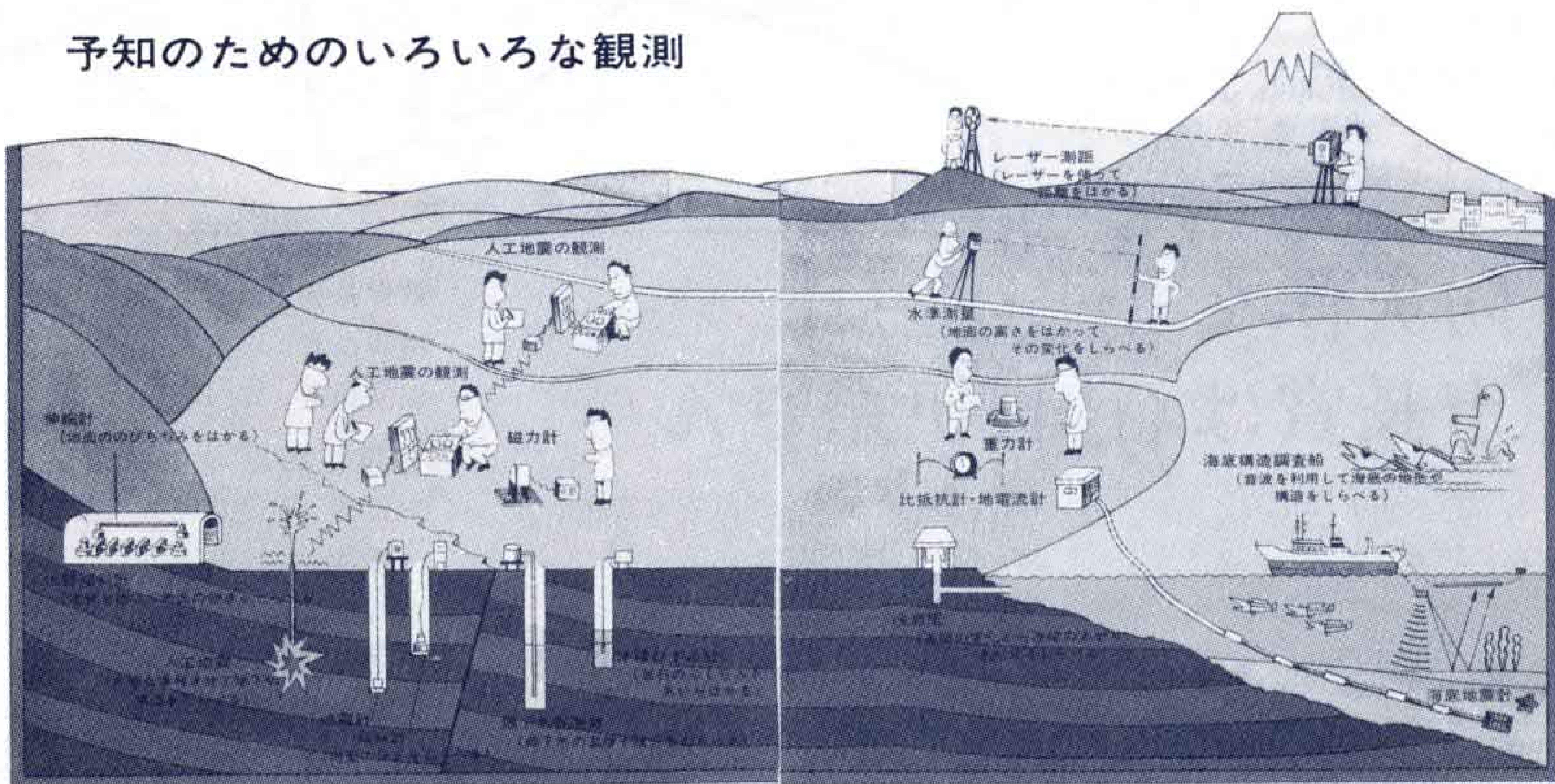
ここで重要なことは、最新の地震学でも、地震の予知はざんねんながらやっとメドがつきはじめた段階だということです。

地面の下のことにくらべると多くのことがわかっている大気現象—天気さえも予報がかならずあたるとはかぎりません。

ですから、予知できないままに大地震がおこることがあるでしょうし逆に、地震予知情報がでてても地震がおこらない、つまり「からぶり」におわることもあります。

「絶対確実な地震予知はない」ということをよくおわかりいただきたいのです。(つづく)

予知のためのいろいろな観測



みんなの手で
きれいな環境づくりを。

『川にゴミを捨てるのは
やめましょう。』